

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-536197(P2004-536197A)

【公表日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-047

【出願番号】特願2003-514070(P2003-514070)

【国際特許分類第7版】

C 1 1 D 17/08

C 1 1 D 1/83

C 1 1 D 10/02

D 0 6 L 1/12

【F I】

C 1 1 D 17/08

C 1 1 D 1/83

C 1 1 D 10/02

D 0 6 L 1/12

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月26日(2005.4.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) (i) 陰イオン界面活性剤成分が約0.5wt%～約30wt%間の量で濃縮物中に提供され；

(i i) 非イオン性界面活性剤成分が約0.5wt%～約30wt%間の濃度で濃縮物内に提供され；および

(i i i) 陰イオン界面活性剤成分対非イオン性界面活性剤成分の質量比が約15：1～約1：5の範囲内で提供される、
約1wt%～約40wt%の陰イオン界面活性剤成分および非イオン性界面活性剤成分の組合せ；

(b) 約5wt%～約60wt%の水軟化剤；

(c) 約0.1wt%～約10wt%の低温分解防止剤；および

(d) 約40wt%～約95wt%の水、

を含み、水軟化剤に対する陰イオン界面活性剤成分と非イオン性界面活性剤成分の質量比が約3：1～1：10である、液体柔軟剤濃縮物。

【請求項2】

陰イオン界面活性剤成分および非イオン性界面活性剤成分の組合せが構造化界面活性剤を提供する請求項1に記載の液体柔軟剤濃縮物。

【請求項3】

陰イオン界面活性剤成分が、アルキルベンゼンスルホン酸塩、アルキル硫酸塩、第2級アルカンスルホン酸塩、アルファーオレフィンスルホン酸塩、アルキルスルホカルボン酸塩、アルキルグリセリルエーテルスルホン酸塩、脂肪酸モノグリセリド硫酸塩およびスルホン酸塩、脂肪酸エステルスルホン酸塩、ジアルキルスルホコハク酸塩、第1級および第2級アルカンスルホン酸塩、石鹼、アルキルエーテル硫酸塩、アルキルエーテルカルボン

酸塩、アルキルエーテルリン酸塩、ジスルホン化アルキルエーテルのアルカリ金属塩、アルキルフェニルエーテルジスルホン酸、およびそれらの混合物の少なくとも一つを含む、請求項 1 に記載の液体柔軟剤濃縮物。

【請求項 4】

- (a) 繊維製品洗濯機中で第 1 使用溶液により繊維製品を洗濯し；
- (b) 繊維製品から少なくとも一部の使用溶液を水抜きし；および
- (c) 第 2 使用溶液が濃縮物または複数の濃縮物を水により希釈しての結果を含んで第 2 使用溶液を提供する第 2 使用溶液によって繊維製品を洗濯し、濃縮物または複数の濃縮物が、
 - (i) 陰イオン界面活性剤成分および非イオン性界面活性剤成分の組合せの少なくとも約 2 wt%；および
 - (ii) 水軟化剤の少なくとも約 5 wt%を含む、段階を含む繊維製品を洗濯するための方法。